Stage. 1 大山への祈り

ステージテーマ / 調ふ(ととのう)
大山寺地区主催事業

伯耆国大山開山千三百年祭 御奥行列 5月

平安時代に始まった大山寺の祈願法要にない、大山寺などの御奥とともに、1300年祭を祝う時代行列を行う。

開催日 平成30年5月20日(日)
開催場所 博労座駐車場～大山寺本堂
※御奥の担ぎ手を募集予定。

開創法要 5月

1300年を記念した特別な法要により参加する皆様へご利益をもたらします。

開催日 平成30年5月20日(日)
10:00 大山寺本堂において開創法要
※13:30より特別祈祷を実施します。

祈願金 10,000円
(特別祈祷での祈願金)

特別版もひとり神事 7月

毎年7月14日～15日に大山で行われる「もひとり神事」は、大神山神社奥宮で夕祭が行われた後、派遣祭を経て大山山頂へ向かい、頂上付近の石室で神祭執行後、霊水と薬草を採取する貴重な無形民俗文化財です。平成30年は、1300年記念として、特別に神楽・舞を実施し(7/14)、観光客等に御神水を配布します(7/15)。

開催日 平成30年7月14日(土)、15日(日)

大山秋季大祭・秋のご縁日 10月

紅葉シーズンの大山で平安衣装をまとった子ども達が大山寺参道を歩く「稚児行列」、祭壇を設け、護摩の炉に供物などを投げ入れることで、天上に供物を運び、天の恩恵にあずかることができる「彩灯大護摩法要」のほか、散餅、大山僧兵太鼓などもお楽しみいただけます。

開催日 平成30年10月24日(水)
開催場所 大山寺周辺

開山1300年 特別祈祷 要予約

松江城国宝指定の決め手となった大山寺祈祷札。開創法要当日から11月末日まで、諸願成就を祈願する特別祈祷を実施。

標高900m付近にある大山寺本堂は、地蔵菩薩の垂迹である大智明権現(だいちみょうごんげん)が祀られており、この本堂で1300年間受け継がれてきた特別加持の秘法を執り行います。

※祈祷札の写真は例年のものです。1300年祭では特別な祈祷札をご用意しています。

開催期間 平成30年5月20日(日)～11月30日(金)
開催場所 大山寺本堂 祈願金 10,000円

開山1300年 特別御朱印・御朱印帳

開創1300年を記念した平成30年のみの特別な御朱印をいただけます。

大山開山1300年祭を記念し、鳥取県西部の伝統工芸である弓浜絣を使用した御朱印帳を販売。また、御朱印も新しいデザインとなり、いずれも開山1300年となる2018年のみの仕様となります。

販売期間 平成30年5月20日(日)～11月30日(金)
販売場所 大山寺本堂 特別御朱印帳 5,000円 御朱印 300円

大山の歴史を感じるスポット

大神山神社奥宮

大山寺本堂から石畳の参道をあがったところに鎮座する大神山神社奥宮。その社殿は全国最大級の壮大な権現造りで、国の重要文化財建造物に指定されています。元は中国地方最大の地方寺院として栄えた、神仏習合の「大山信仰」の中心であった大智明権現社でした。最奥部に建てられ、明治初頃の神仏分離によって、神仏習合の大山寺が廃絶となった際に、大智明権現社から仏教色を取り除いて大神山神社(米子市)の奥宮と定められました。

大山寺

山岳信仰に帰依する修験道の修行道場として栄えた大山寺。平安時代以降、山岳信仰の仏教化が進むにつれて寺院が増え、最盛期には100を超える寺院と3000人以上の僧兵をかかえるほどの一大勢力として、比叡山、吉野山、高野山に劣らないほどの隆盛を極めていました。しかし、明治初期の神仏分離・廃仏毀釈をきっかけに衰退の一途をたどり、数多くあった寺も現在は4つの伽藍堂と10の支院を残すのみ。本堂は天台宗の古刹で、昭和3年に一度焼失、同26年に再建されています。

©鳥取県

阿弥陀堂

大山寺に現存する寺院の中では最古の建築物。平安初期に創建、藤原期に建立され、享禄2年(1529年)に山津波で倒壊、その後天文21年(1552年)、現在の場所に再建されたといわれる室町末期の建造物です。本尊は、1131年に大仏師良円によって造営されたと言われる丈六(2.79メートル)の木造阿弥陀如来。その両脇には観音と勢至の両菩薩も安置。建物、仏像とも国の重要文化財に指定されています。

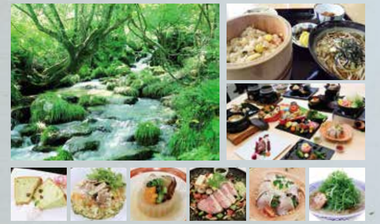
Stage. 2 大山からの恵み

ステージテーマ /
不思議と素敵 大山ワンダー

水と食プロジェクト

1300年祭 記念料理・おもてなし料理

この地を訪れた方に大山山麓の味覚を堪能いただくための記念料理・おもてなし料理を提供します。そして、豊かな水と食、大山ブランドの魅力を発信していきます。



たたらんち

豊かな森林、水、土によって古くから良質の鉄を産した日野郡では製鉄の匠たちが熟練の技で炎を操り、質の高い玉鋼を生産していました。「たたらんち」は、日野郡自慢の食材を使って、炎と音でたたら製鉄をイメージさせる演出を施した料理メニューです。

地BeerFest大山 6月

新緑の大山で、日本全国からおいしい地ビールの数々を集め、様々な音楽・ステージイベントとともに堪能していただけます。壮大な自然の中で味わう地ビールの祭典を是非体験してください。

開催時期 平成30年6月9日(土)・10日(日)
開催場所 大山桝水高原駐車場(伯耆町)

「大山」の恵みを感じるプロジェクト

「大山山麓の至宝」～「大山」ゆかりの刀を中心に～ 7·8月

反りのある日本刀では日本最古級の名匠として知られる刀工・伯耆安綱を輩出したこの地で、あらためて大山がもたらす恵みを知ることができます。

※期間中に関連イベントも開催予定です。

太刀 銘 安綱(大神山神社蔵・米子市美術館寄託)

開催期間 平成30年7月29日(日)～8月26日(日)
開催場所 米子市美術館 観覧料 有料(調整中)

謎解き宝探しゲーム 7·9月

大山山麓に隠された秘宝とは?宝の地図を手がかりに、大人から子どもまでが楽しめる参加型謎解き宝探し。2017年にもプレ版を実施し、大好評を得て、今年はさらにエリアを拡大して実施します。クリアした方には抽選で豪華賞品も当たります。

開催期間 平成30年7月1日(日)～9月30日(日)
開催場所 大山山麓周辺 参加費 無料

1300年祭記念 クラシックコンサート 8月

大山の大自然に囲まれた絶好のロケーションの中、クラシックギター、チェロ、フルートによる三重奏を鑑賞できます。

開催時期 平成30年8月12日(日)
開催場所 調整中

1300本のたいまつ行列 9月

1300本のたいまつで大神山神社奥宮の御神火を渡り繋ぎ、博労座駐車場で参加者の祈願成就を願います。1300人がたいまつを手に、「炎の河」となって流れる光景は圧巻で、人々に忘れられない感動と思い出を与えます。

開催日 平成30年9月30日(日) 開催場所 大神山神社奥宮～博労座駐車場

この機会にしか味わえない、大山開山1300年を彩る特別な「食」「絶景」「歴史」「アクティビティ」が楽しめるイベントをご用意し、皆様のお越しをお待ちしております。

DAISEN

緑のプロジェクト

皆生・大山 SEA TO SUMMIT 2018 5月

海・里・森のつながりに思いを巡らせながら「大山のエコロジカルな楽しみ方」として、カヤック、バイク、ハイクで自然を体感できます。SEA TO SUMMITはここ皆生・大山が発祥の地で、今回開催10周年を迎えます。

開催時期 平成30年5月19日(土)、20日(日)
開催場所 皆生(米子市)～大山

山ガールサミット in鳥取大山 9月

山や自然を愛する皆さんと楽しみながら、登山等を通して「参加者と地元の人」がつながるイベントです。トレッキングアクティビティー、ゲストによるトークショー、山ガールファッションショーなど開催します。

開催時期 平成30年9月16日(日)、17日(月・祝)
開催場所 大山寺博労座駐車場他

第3回「山の日」記念全国大会in鳥取 8月

「山に親しむ機会を創出し、山の恩恵に感謝する機会とする」ことを目的として2016年に制定された祝日「山の日」。平成30年、鳥取県・大山で西日本で初めてとなる「山の日」記念全国大会を開催します。

開催日 平成30年8月10日(金)・11日(土・祝)
開催場所 米子市・大山町他

新しい「大山詣り」 ホーリートレイル大会 9月

かつて大山参詣、牛馬往来のため江戸時代に整備された「大山古道」。2018年はその複数の古道を舞台にしたホーリートレイル(信仰の道)ハイクイベントを開催します。

開催時期 平成30年9月30日(日)
開催場所 大山へ続くそれぞれの古道(横手道、川床道、尾高道など)

大山紅葉満喫ウォーク 10月

この時期まさに見頃の紅葉をゆっくりと歩いて楽しんでいただくために、「見て、知って、感じる大山」としてブナ林を貫くウォークイベントを開催します。

開催時期 平成30年10月27日(土)(調整中)
開催場所 大山寺・桝水高原・奥大山(大山町他)

奥大山古道ウォーク 11月

後醍醐天皇ゆかりの味覚(団子汁)と伝統の下蚊屋荒神神楽を堪能しながら紅葉の奥大山の古道を散策します。

開催時期 平成30年11月10日(土)
開催場所 鍵掛峠 他(江府町)

緑のプロジェクト

大山「星」のフェスティバル

鳥取県はどの市町村でも天の川が見える「星取県」。空気の澄んでいる大山圏域には星空観測絶景スポットが多くあることから、複数の市町で星空を堪能できるイベントを連続開催します。

- 移動式プラネタリウムによる全天周番組の上映
- 天体望遠鏡、双眼鏡による星空ウォッチング
- 星空トークショー
- 星空コンサートなど

©Tetsuya Yutaka

ほんのり灯る夏の幻想彩色 大山の大献灯 8月

夏の風物詩となっている「お盆の大献灯」を2018年は期間を拡大し、「大山の大献灯」として実施します。

大山開山1300年を記念し絵とうろう、和傘を使った幻想的な献灯を8月10日～13日、24日～26日、9月22日～24日に開催。
※8月14、15日は和傘灯りは無し。

開催時期 平成30年8月10日(金)～15日(水)他
開催場所 大山寺参道、大神山神社奥宮参道他

※開催各日の入場券は、当日の午後5時から販売(事前購入不可)。
安全確保のため会場混雑状況により、入場いただけない場合があります。

水木しげるロードリニューアル 妖怪ナイトウォーク 7·8月

年間約200万人の方々が訪れる水木しげるロード。平成30年7月にリニューアル工事を終え、装いも新たに妖怪の魅力を発信します。妖怪ブロンズ像を新たに21体加え、全体で174体となり、全線で夜間照明演出を行います。夏休み期間中には来訪者に妖気を感じてもらう「妖怪ナイトウォーク」を実施します。

©水木プロ

開催時期 平成30年7月～8月 開催場所 水木しげるロード(境港市)

ダイヤモンド大山鑑賞 3·9月

国生みの神イザナミの御陵とも伝えられる「母塚山(はつかさん)」。大山～弓ヶ浜を一望できる絶景スポットとして多くのカメラマンが訪れ、そこから望む大山山頂からの朝日(=ダイヤモンド大山)を鑑賞します。

開催時期 平成30年3月・9月
開催場所 母塚山展望駐車場(南部町)

CLIMAX EVENT クライマックスイベント

大山の魅力の集大成を演出

「食のみやこ鳥取県 農と食のフェスタ in せいふ」タイアップ
大山ワンダーフォーラム
「大山の不思議と素敵」をキーワードに、1300年祭・中核期間の各プロジェクト事業のクライマックスイベントとして開催します。

平成30年
10月20日(土)・21日(日)(予定)
米子コンベンションセンター他

※その他、市町村で様々なイベントが開催されます。詳しくは、公式HP、フェイスブックで随時お知らせします。 ※イベント内容は変更になる場合が有りますのでご了承下さい。※写真はイメージです。

古来より山岳信仰が盛んな大山で大山寺が開創され、2018年に節目の1300年を迎えます。

山そのものが神として祀られ、近代まで一般の方の登山や樹木の伐採が禁止されていたため、山麓には西日本最大級のブナの原生林が広がっている大山。広大なブナの森に降り注ぐ雨や雪は、ゆっくりと地面を伝い、「生命の水」となって、里から海へ注がれ、豊かな山の幸、里の幸、海の幸をもたらしてくれます。美しいブナの森を眺めつつ汗を流す登山、古道をたどるトレイルウォーク、様々なルートが楽しめるサイクリングなど五感で自然を体感するアクティビティも大人気です。また、大山で見る夜空は、手を伸ばせば届くかのように星々が瞬き、山麓の夜景、漁火、ホタルの光など「地上の星」とのハーモニーも楽しめます。こうして考えると、水・食・自然、星空など大山の恵みは、ブナの森、そしてそれを守ってきた大山の山岳信仰・地蔵信仰によってもたらされてきたと言えるのかもしれません。大山の懐に抱かれながら、恵みに感謝しつつ、豊かな生活を送ることができる場所。それが伯耆国・鳥取大山圏域です。

大山寺の歴史

大山寺開創

奈良時代養老2年(718)出雲の国玉造りの依道(よりみち)によって大山寺が開創されました。「大山寺縁起」によると、依道がある日金色の狼を追って大山に入り射殺そうとしたとき、矢の前方に地蔵菩薩が現れ、依道に信心の心がにわかに起こり弓矢を捨てました。狼はいつの間にか老尼と化し依道に話しかけました。この出来事により依道はすみやかに出家、仏道の修行をし、この山に地蔵権現を祀り、その名を金蓮(きんれん)と改めたと記されています。また、「選集抄」にもほぼ同じ説話が載っています。(大山寺パンフレットより抜粋)

607年	奈良法隆寺
712年	古事記
718年	大山寺開創
720年	日本書紀
733年	出雲国風土記
759年	万葉集
788年	比叡山延暦寺
816年	高野山金剛峯寺
919年	太宰府天満宮

山岳信仰に帰依する修験道の修行道場として栄えた大山寺。平安時代以降、山岳信仰の仏教化が進むに連れて寺院が増え、最盛期には100を超える寺院と3000人以上の僧兵をかかえるほどになりました。

『出雲国風土記』と国引き神話

神話に登場する八束水臣津野命(やつかみずおみづぬのみこと)は、出雲の国土が狭いことを不満に思い、新羅や隠岐、北陸などから土地を切り取り、薗の長浜(島根県)や弓ヶ浜(鳥取県)を綱として引き寄せて島根半島を造った。その際にそれが動かないよう差し込んだ杭が三瓶山(島根県)と大山とされている。

山陽での大山信仰

大智明権現は、大山の山岳信仰と修験道が融合した神仏習合の神であり、地蔵菩薩を本地仏とする。大山独特の地蔵信仰が、鎌倉時代以降、「大山信仰」として山陽諸国まで信仰圏を広げていき、広島県尾道市の千光寺大仙堂では、本尊大仙智明大権現は大山寺のご分体とされており、岡山県瀬戸内市の大賀島寺には、境内に大智明大権現神社があるなど、今でもあつく信仰されている。

日本遺産 地蔵信仰が育んだ 日本最大の大山牛馬市

地蔵菩薩が生きとし生けるものすべてを救う仏さまであることから、平安時代に大山寺の高僧、基好(きこう)上人が、牛馬安全を祈願する守り札を配るとともに、山の中腹に広がる牧野で牛馬の放牧も奨励しました。こうして大山の「牛馬信仰」が広まっていきました。牛馬の育成に適した大山山麓の牧野で育った体格の良い放牧牛は参詣者の注意をひき、また、参詣者が曳き連れてきた牛馬もあって大山寺の春祭りなどに牛くらべ、馬くらべが開かれました。これが発端となって、鎌倉時代以降、次第に牛馬の交換や売買が盛んに行われ、明治中頃には年間一万頭以上の牛馬が商われた国内最大の牛馬市に発展しました。

大山寺の開山1300年に向けた取組み

開白(かいびゃく)法要	開創(かいそう)法要	結願(けがん)法要
平成29年5月	平成30年5月20日(日) 10:00～大山寺本堂において開創法要 13:30～特別祈祷会(きとうえ) ※要予約	平成31年10月

1300年を記念した特別な法要で、参加する皆様方へ御利益をもたらします。

シンボルマーク 調ふ(ととのう)

コンセプト
必要なものは山が調えてくれる
調身・調息・調心

大山が望める地域ではいつも大山に手を合わせてきました。それは大山に調えてもらっているから。ブナの森が育む水は、里へ、海へ、そして山へと循環し伯耆国に豊かな恵みをもたらします。大山さんの恵みをいただければ身体が調ひ、その空気を吸えば息が調ひ、その優に身をゆだねれば心が調ふ。

ACCESS MAP

隠岐
隠岐へ
大山
DAISEN
鳥取県
島根県
広島県
岡山県
大山
白壁土蔵群
とっとり花回廊
三徳山投入堂
鳴り石の浜
ヒメボタル
(日南町・蒜乃原)
金持神社
奥大山・鍵掛峠
中国自動車道
山陰自動車道
山陽自動車道
松江自動車道
鳥取自動車道
岡山自動車道
米子IC
米子JCT
米子自動車道
米子道
米子空港
境港
境港IC
境港JCT
安来IC
安来JCT
出雲IC
出雲空港IC
出雲JCT
斐川IC
斐川JCT
宍道IC
宍道JCT
松江IC
松江JCT
玉造IC
玉造JCT
益田IC
益田JCT
浜田IC
浜田JCT
大田IC
大田JCT
江津IC
江津JCT
桜江IC
桜江JCT
川本IC
川本JCT
邑智IC
邑智JCT
美郷IC
美郷JCT
大原IC
大原JCT
三次IC
三次東JCT-IC
東城IC
東城JCT
北房JCT
落合JCT
津山IC
津山JCT
久世IC
久世JCT
倉吉IC
倉吉JCT
鳥取IC
鳥取JCT
鳥取西IC
鳥取JCT
河原IC
河原JCT
智頭IC
智頭JCT
若桜IC
若桜JCT
用瀬IC
用瀬JCT
佐用IC
佐用JCT
佐用平福IC
西粟倉IC
大原IC
美作IC
美作JCT
美作ICT
美作ICT
美作IC